

研究協力をお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 神経精神医学教室

記

研究の名称	コンサルテーションを通じた精神神経科の介入が必要な患者の特性や動向に関するカルテ調査
対象	2022 年 7 月 1 日から 2025 年 5 月 31 日までの期間に各科から精神神経科へ相談を受けた患者さんのカルテデータを研究に利用いたします。
研究期間	研究実施許可日（2025 年 7 月 4 日） ～ 2027 年 3 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	利用目的：2022 年 7 月より、大阪医科薬科大学病院は大阪府三島救命救急センターから三次救急医療の機能を引き継ぎ、救命救急センターを併設することになりました。これにより、精神科の対応が必要な患者さん、特に自殺企図や精神科投薬による副作用などで重症化した方が増えています。このような患者さんに対して、精神科では精神状態の評価や、その後の治療・支援方針の決定など、関係する診療科と連携しながら支援を行っており、今後もこのような対応の必要性は高まっていくと考えられます。この研究では、各科より精神神経科へ相談された患者さんの診療記録を調査し、近年どのようなケースで精神科が介入しているかを明らかにすることを目的としています。これにより、今後の医療体制の改善や、より適切な支援方法の検討に役立てたいと考えています。 利用方法：患者さんの診療情報を抽出し解析を行います。抽出した診療情報は、

	加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です。 利用又は提供の開始予定日：研究実施許可日（2025 年 7 月 4 日）
利用し、又は提供する試料・情報の項目	情報：診療記録を参考に各科から精神神経科へ相談された患者さんのカルテデータより、性別、年齢、診断名、投薬状況、精神科としての診断、家族構成、教育歴、患者の転帰などの詳細を把握し、近年の精神科患者の特性や動向を検証します。
利益相反について	本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。 当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。
研究者名 【研究責任（代表）者】 大阪医科薬科大学 神経精神医学 教授 金沢 徹文	
参加拒否の申し出について ご自身の診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。 参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。	

問い合わせ窓口

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 神経精神医学

担当者 大西 尚哉

連絡先 072-683-1221（代） 内線 56137

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学
研究責任者 金沢 徹文 殿

研究の名称	コンサルテーションを通じた精神神経科の介入が必要な患者の特性や動向に関するカルテ調査
-------	--

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

※ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）